



第10号

平成21年(2009年)8月25日(月)発行
発行元:みやげじま『風の家』
(三宅島災害・東京ボランティア支援センター)
発行責任者:坂上 幸一郎
東京都三宅島三宅村阿古532-1
(社団法人 日本建築学会三宅島研修所併付)
電話:04994-5-1470 FAX:04994-5-1471
E-mail:miyake_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやげじま『風の家』でくりかえされる日常の中で、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。
多くの人が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。
ただそれだけを見つめて…

(^o^) 10年ぶりの『富賀神社大祭』

8月4日(火)。いよいよ10年ぶりとなる「富賀神社大祭」が始まりました。

『風の家』でも、もう一月も前から皆楽しみに待っていました。

「10年ぶりで、みんな大変だけどがんばって！」
「なあ～に、祭りが始まっちゃえば若い衆がじっとしちゃられないよ！！」と、わくわく。

自然と元気が出てきます!(^^)!



『風の家』に来られるみんなは、それぞれ自分がくらす地域でお神輿を観て、声援を送りました。

なかには「お神輿が家の前を通ってくれて本当にうれしかった。思わず手を合わせて、ありがたいなあ」と心で唱えた」と話された方も。

また他の方は「10年ぶりだったのに、無事にお祭りをやりきって、ほんとに大したもんだ！すごいよ」とお祭りに関わった方々に感激されたと話されていました。

どの地区も、若い人から先輩たちまた、男性も女性もがみんなで力を合わせて、見事に取組まれている姿から、島にとって本当に意味深いお祭りだと改めて感じました。

お祭りが終わった後には、「ごくろうさん！」「お疲れさまだったね」と労う声があちらこちらで聞かれました。それは地区を超えて交わされ、すがすがしい笑顔にあふれていました。

大祭を通じて、島のひとが一つになりました、島外からもたくさんの方々がお出でになり、その大きく力強いエネルギーはこれからの島の復興にきつとつながっていくんだと感じました。

大祭の開催に関わられたご関係のすべての皆様に心からお礼をもうしあげます。



)^o^(美味しそうに・・・

観てください！『風の家』のお庭で育てたミニトマト。

みんなに大切に见守られて、とっても美味しそうに実りました。

今年は梅雨から夏にかけて雨も降り、島中の畑はどこも見事に野菜たちがそだっていますね。

今日も採れたての新鮮なお野菜をいただきました。畑の恵みと、野菜作りに向けられた思いに感謝しながら美味しくいただきます



@~/~~~~ 島の歴史に触れて



郷土資料館では、〇月〇日から〇までの間「東海汽船の歴史展」が開催されています。

三宅島とを結んだ歴代船の写真や、古く船の歴史が展示されています。

船を通じて、それぞれ思い出がよみがえってとても懐かしく見学しました。



とりわけ「萩丸」には思いを強く寄せる姿が見られ、悲しい歴史の一面を感じとられました。

あわせて、阿古・坪田・三宅それぞれの学校の歴史も展示されています。島の歴史、当時くらしていた人々の暮らしや文化に思いをはせた時間でした。

(+ +) お互いに声を掛け合って

テレビなどの報道も含めて、「新型インフルエンザ」に対する予防への取り組みが広く呼び掛けられています。

『風の家』でも手洗いやうがいを中心に、玄関には消毒用のアルコールスプレーを置きこまめに消毒をするなど、心がけています。

みんなで元気に乗り切りたいものです。しかし何といっても体が一番。体調管理に気をつけながら、みんなで声を掛け合い注意していきたいと思えます。

(^ ^) / 「風の家」一緒にしませんか！！

『風の家』では、日頃の活動の中で、「ボランティア」としてご一緒にいただける方を、引き続きお待ちしています。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲良く」です。



目には決して見えないものですが、きっと人と人との良い出会いは、「暮らし」の中でとても大切なものだから・・・

ぜひ、お気軽においでください。

(^ ^) / ご支援いただきありがとうございます

みやけじま『風の家』は月曜から土曜までの、朝 10 時から夕方 3 時まで開設しています。

(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

お近くにお越しの際は、どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。